## 学校再開にあたって

札幌静修高等学校 校長 宮路 真人

本校におきましては、以下の通り、生徒の安全面に配慮した上で、分散登校により学校を再開致します。何卒ご理解とご協力をお願い致します。

## 1. 生徒及び教職員の健康観察徹底

生徒及び教職員は登校・出勤前に検温し、発熱や体調の悪さがある場合には登校、出勤しないことを注意喚起します。つきましては、各ご家庭におかれましても朝晩の検温とご家族全員の健康状態を確認し、健康観察表に記入の上生徒に忘れずに持参させてください。

登校後、生徒は健康観察表を提出し、担任教員が毎朝確認します。

「健康観察記録表」とともに、下記項目を登校前にチェックし、当てはまる場合には、登校前に学校へご相談ください。

□37.5度以上の発熱がある。
口咳やのどの痛み等風邪症状がある。
□味覚や嗅覚の違和感がある。
□1週間以内に38度以上の高熱が出た。

口倦怠感(強いだるさ)がある。

口息苦しさがある。

- 口同居の家族が「新型コロナウイルス感染症」あるいはその疑いと診断された。
- 口同居の家族が「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者」に特定された。
- 口同居の家族が高熱を出している。

#### 2. 手洗いや咳エチケットの徹底

(1) 教職員、生徒全員のマスク着用を原則とします。また、手洗いの励行をお願いし、各 自ハンカチを携行するようにしてください。(マスクやハンカチを入れる袋を持参し、 学校内でマスクを捨てないようにお願いします。)

\*体育授業の際には、十分な距離を保つなど配慮した上で着用せず授業を行います。

- (2) 各階トイレ、手洗い場にはハンドソープを設置、正しい手洗いの仕方をポスター掲示しています。
- (3) 各教室には、手指消毒剤を設置しています。
- (4) 教室、トイレや階段の手すり等校内を毎日、消毒液を用いて消毒します。

# 3. 3つの条件(密閉、密集、密接)の回避

## (1) 換気の徹底

教室の換気は、1時限ごとに2方向の窓を開けて行います。また、教室のドアは原則として閉めないで使用します。

# (2) 身体的距離の確保

- 分散登校中は、前後左右に隣り合って座ることのないよう座席配置を配慮します。
- 移動教室など座席が移動する授業の際には、教員が机等の消毒を行います。

# (3) 密接場面への対応に配慮

- 教職員、生徒全員のマスク着用を原則とします。
- 授業では当面の間、至近距離で向かい合って発声する活動をしません。
- ・体育授業については、可能な限り屋外で実施する、体育館のドアを広く開ける等配慮した上で、呼気が激しくなる運動を避けるなど、リスクの低い活動から徐々に実施します。
- (4)登下校時に公共交通機関を利用する場合には、可能な限り混雑を避け、複数人数での 会話や咳エチケットなどに注意するようにしてください。